

# 2016年度 ソフトバレーボール・ルール改・修正点

## 1. 改正点

### (1) チームの構成

#### 1) トリムの部

コート内の選手を年齢区分によって、次のようにする。

- ① フリー・クラス : 18歳以上の男女各2人
- ② ブロンズ・クラス : 30歳以上の男女と40歳以上の男女それぞれ1人
- ③ スポレク・クラス : 40歳以上の男女と50歳以上の男女それぞれ1人
- ④ シルバー・クラス : 50歳以上の男女と60歳以上の男女それぞれ1人
- ⑤ ゴールド・クラス : 60歳以上の男女各2人

【Ⅱ-1-(2)】 P18

#### 2) レディースの部

コート内の選手は18歳以上と40歳以上の女性それぞれ2人とする。

【Ⅱ-1-(3)】 P18

### (2) 競技の中断

特殊な事情による試合の中断

- 1) ボールがインプレー中でも、重大な事故が起きた場合、審判員は直ちに試合を止め、治療等の必要な措置を指示する。この場合、そのラリーはやり直しとなる。
- 2) 競技用具が破損した場合や、地震等のやむを得ない事象が発生した場合、審判員は直ちに試合を止め必要な措置を指示する。この場合、そのラリーはやり直しとなる。

【Ⅲ-5-(3)-(1),2)】 P25

## 2. 修正点

### (1) 施設と用具

#### 1) ネットおよび支柱

- ① 幅80cmのソフトバレーボール用ネットを用い、ネットの高さは、2mとし、コート中央で測定する。【Ⅰ-1-(2)-1】 P16

#### ② 注解

支柱やネットは、バドミントン用のものを利用してもよいが、支柱には補助器具を継ぎ足して規定の高さにする必要がある。

ただし、調整後、規定の高さとならない場合は、マイナス2cmまで認める。

【Ⅰ-1-②】 P16

(2) 競技参加者の権利と義務

注解 選手のユニフォーム（上下）はやむを得ない場合、色、デザインが違うものを着用してもよい。 【Ⅱ-2-①】 P20

(3) 審判員とその主な責務

副審 権限

- 1) タイムアウトや選手交代の要求を許可し、その時間や回数をコントロールし、主審と当該チーム監督に2回目のタイムアウトおよび3回目、4回目の選手交代を通知する。
- 2) 主審から見えない位置で生じた反則を確認した時は、ハンドシグナルのみで主審に合図する。しかし、主審に判定を強要することはできない。

【付則Ⅰ-2-(1)-3,4)】 P64,65

(4) 公式ハンドシグナル

1) 主審と副審のハンドシグナル

主審と副審は、公式ハンドシグナルを用いて、吹笛をした理由（反則の種類、または許可した試合中断の目的）を示さなければならない。

公式ハンドシグナルは、しばらくの間、示し続ける。もしもそのハンドシグナルを片方の手で示す場合は、反則や要求のあったチーム側の手を使わなければならない。

【付則Ⅱ-1-(1)】 P67

2) 第2図 主審と副審の公式ハンドシグナル

- ① 適用条項を修正した。
- ② ハンドシグナルを修正した。

(5) 字句と数値の修正を行った。

「相手方」を全て「相手」に修正した。